

福祉生活病院常任委員会資料

(令和2年4月21日)

【件名】

- 1 新型コロナウイルス感染症に対する県立病院の対応について…………… 1

病 院 局

新型コロナウイルス感染症に対する県立病院の対応について

令和2年4月21日
病院局総務課

新型コロナウイルス感染症が県内で確認されたことを踏まえ、今後、県内感染期を想定して下記のとおり対応してまいります。

1 患者入院増に備えた体制の整備

- (1) 感染症病床4床に加え、結核病床又は陰圧機能のある病床等を転用して、受け入れ体制を拡充します。
- (2) 県立病院は重症患者を優先して受け入れる方向のため、医療体制が逼迫した場合には鳥取県新型コロナウイルス感染症入院医療トリアージセンターと連携しながら対応します。

2 重篤な患者発生に備えた体制の整備

- (1) 体外式膜型人工肺（ECMO）を使用した治療は、高度な技術と経験が必要なため鳥取大学附属病院やECMO治療の経験のある公立豊岡病院とも連携して対応します。
- (2) 両病院に1台ずつ追加整備する予定。

※ 体外式膜型人工肺（ECMO：Extracorporeal membrane oxygenation）（出典：ウィキペディア）
重症呼吸不全患者または重症心不全患者に対して（時に心肺停止状態の蘇生手段として）行われる生命維持法。心臓と肺が、生命を維持するのに十分な機能を失った際に、心臓と呼吸の補助をする治療法である。
ECMOは血液を抜き出し（脱血）、人工肺にて二酸化炭素を拡散により除去と赤血球に酸素を付加（酸素化）し、再び体内に戻す（送血）。肺が本来行うべき酸素化と二酸化炭素除去を代替し、肺を全く使用しなくてもよい状況（Lung Rest）を作り出す。